

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月8日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3771300419
法人名	医療法人社団 光風会
事業所名	高齢者グループホームプレスマン
所在地	香川県高松市牟礼町原932番地1 (電話) 087-870-1322

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成19年11月20日	評価決定日	平成20年1月8日

## 【情報提供票より】(19年 10月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 4月 1日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27人
職員数	22人	常勤	22人、非常勤 0人、常勤換算 22人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 3階建ての1階 ~ 3階部分
------	------------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	10,000円+実費
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,500円			

### (4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	27名	男性	4名	女性	23名
要介護1	4名	要介護2	7名		
要介護3	7名	要介護4	7名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 80歳	最低	50歳	最高	95歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	屋島総合病院 三光病院
---------	-------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、母体の医療法人が持つ機能を十分に活かしながら、グループホームとして独自の工夫を築きあげているホームである。外観は鉄筋3階建てで高台に建てており、ホーム内からの眺めも良く、利用者と共に作成した季節の壁画などが心を和ませてくれる。書類関係はきちんと整理、管理ができており、各種委員会や研修会などが法人単位で活発になされているうえに、ホーム独自でも認知症についての勉強会が定期的に行われている。昨年、運営推進会議を発足し、地域との連携が深まりつつあり、今後ますます期待できるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>「できること」「できそうなこと」を見出すために、アセスメント様式にセンター方式を取り入れ、一人ひとりの生活歴からしたいこと、できることを把握し、日常生活の中で行えることを見つけ始めている。地域との交流は、昨年運営推進会議を発足し、会議を重ねるごとに、地域の方も関心を示してくれるようになり、参加者も増えてきている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>日々の日課の中で、3ユニットごとに職員全員で取り組んでいる。その職員相互の話し合いの過程において、より良いケアの向上を目指す姿勢が定着してきている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、防災訓練の様子をビデオで見させていただいたり、利用者の日常の様子を具体的に伝えることにより、地域の方から、ホーム入り口に夜も入りやすい対策をしたほうが良い等、身近な意見をいただけるようになってきている。会議で検討した行事に実際に協力をいただく等、積極的な関わりへと進展してきている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>各ユニットごとに意見箱を設置した受身でなく、面会時にはこちらから声をかけ、言いやすい雰囲気をつくり、不安や意見がないか等を伺っている。また、運営推進会議の参加者も増え、会議上でも家族の立場から発言をしていただき、事項については検討し、運営に反映できるよう努力している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の自治会、民生委員、子ども会、老人会、婦人会等、多くの団体や個人と関わりが増え始めている。老人会からも、ホームとどう関わりを持てばよいか等、運営推進会議で質問をいただく等、積極的に連携を持とうとする姿勢を示してくれるようになってきている。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	現在の理念は、職員一人ひとりが考え、それをまとめて形にしたものであるため、職員皆が愛着を感じ、言葉が自分のものとなっている。利用者が地域の一員であることから、地域との交流を大切にする内容が加えられた。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常のケアやカンファレンスで判断を要する時、共に理念を基準とし、ケアに反映している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣保育所の歌や踊りの訪問をきっかけに、運動会の案内を受け、見学に出かけたり、老人クラブは野菜の植えつけから収穫までの手伝い、婦人会は夏祭り等、地域の方の協力を得ながら、交流を深めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の改善点や自己評価を職員全員で取り組んだことから、各職員に評価を受ける意義の理解が深まり、改善への取り組みが行われている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者の様子を報告したり、行事計画や検討課題などを提示し、それに対する意見をいただいている。また、夜間、ホームの入り口が分かりにくいという、地域の方ならではの具体的な意見をいただく等、利用者にとって有意義な話し合いがなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町担当者は運営推進会議に毎回出席され、行政の立場から発言がある。また、事前に会議の運営方法について相談を行い、助言をもらう等、市と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月のプレスマン便りにて、行事や利用者の生活の様子、職員の異動があれば報告するとともに、面会時には健康状態、暮らしぶりの報告や金銭の使途を説明し、金銭出納帳にサインをもらっている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>各ユニットに意見箱を置いているだけでは率直な意見がもらえないため、家族会でアンケートを取り、一つひとつの意見を検討している。また、運営推進会議への出席も人数が増え始め、家族の視点から意見をいただいている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動があった場合は、利用者に支障のないよう申し送りする等、最善の努力をしている。プレスマン便りで家族へも報告している。</p>	○	<p>年に1回最小限ではあるが、3ユニット間や法人内で人事異動が恒例となっている。人事異動はメリットもあるが、利用者にとって有益であるか、職員との馴染みの関係を大切にしているか等の視点を重視した取り組みに期待したい。</p>
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内で週1回の研修や、ホームでは月1回の認知症の研修を行い、外部研修も計画的になされている。また、資格取得を奨励しており、資格手当での支給など、意欲向上を図った職員の育成がなされている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>毎月開催される高齢者ケア会議では、ホーム相互に意見交換し、ケアに活かしている。また、実際に近隣のグループホームと訪問しあい、設備や雰囲気、接し方においても研鑽を重ねている。今年の夏祭りには、他ホームから職員だけでなく利用者も参加され、楽しまれている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族や馴染みの方に面会をお願いし、利用者が安心感を持って、徐々に馴染んでもらえるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から日常のさまざまな場面で教えられることがある。また、会話の中では一緒に笑ったり、励まされることもあり、支えあう関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント表をセンター方式にし、利用者の思いや希望、昔の職業や趣味などを把握し、ケアに活かす努力をしている。言葉では表現できない利用者の思いや意向は、表情や行動だけでなく、家族や馴染みの人の言葉も参考にし、検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族には機会あるごとに意見や希望を伺い、医師、看護師、介護職員等専門職での話し合いにより、本人のより良い暮らしのあり方を検討して、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の経過は毎日その様子を記載し、毎月評価、3か月ごとにカンファレンス、6か月ごとに計画作成を行っている。状態の変化時はすぐに計画を見直し、現状に即した計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	部屋に空きがあるとき限定で、短期入居を行っている。1ユニットにリフト浴を設置しているため、他の2ユニットも、家庭浴槽では困難な利用者に安心して入浴してもらえるよう利用している。各ユニットには、壁の移動により、夫婦部屋になるような居室も用意されている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設病院を含めた希望のかかりつけ医の受診を、家族の協力も得て、支援している。また、近隣の総合病院が協力病院となっているため、さまざまな疾患に対応できる体制が整っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時にはホームで対応できる最大限のケアについて説明し、利用者の状態や家族の希望を踏まえ、医師、看護師等も含めて話し合い、方針を共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録による漏洩防止を徹底している。プライバシーに関する会話には細心の注意を払い、利用者一人ひとりを尊重し、誇りを傷つけるような言葉のないよう取り組んでいる。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の一人ひとりのその日の体調や気持ちを伺いながら、それぞれのペースに合わせて、思い思いに過ごしてもらえるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理は法人全体で調理されているが、利用者が盛り付け、片付け、お盆洗い、テーブル拭きなどを行っている。メニューが気になる利用者には、自分で献立を紙に書いて、テーブルに張り、度々確認し、安心してもらっている。	○	おやつはホームで手作りをしているが、昼食は、法人全体で作られている。誕生会などは、ばら寿司を利用者と一緒に作るなど、ホーム独自の食事の検討を期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調や希望に合わせて、午前、午後に関わらず入浴できる。菖蒲湯やハーブ湯、全国の名湯などを用意して、入浴を楽しめるよう支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の食事の用意や片付けをはじめ、畑の収穫や買い物など、生活歴を活かした楽しみや気晴らしを支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物やドライブ等、外出希望に沿うよう支援しているほか、時候のよい時は、広い敷地での散歩や玄関先での日光浴などを支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物が3階建てであるため、エレベーターを利用しないと外へ出ることは難しい。一旦、外へ出ると急な坂で、転倒の危険性があるため、玄関にはチャイムが鳴るようにして出入りを把握する工夫をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者と共に、年2回、昼と夜を想定した防災訓練を行っている。また、運営推進会議にて、ビデオで撮った訓練の様子を紹介すると、ホームへの協力の必要性を感じた等の意見をいただいている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分の摂取状況は記録し、全職員が把握し、情報により支援できている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節にあった壁の装飾を利用者と一緒に作成し、時折その話題に触れることもある。また、各ユニットでは炊飯している匂いや、広い窓から光が差し込み、温かみを感じる雰囲気である。トイレや浴室は大きく表示して、大変わかりやすく工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はトイレの有無があり、利用者の状態と希望により選択できる。また、自分の好きな花を飾ったり、自分で作ったカレンダーを貼るなど、居心地よく過ごせるよう工夫されている。		